

白球を追って学童野球大会

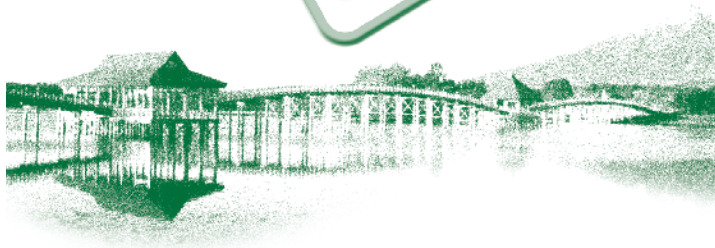
10月9日（日）、町営球場で「鶴寿橋開通記念第45回選抜学童野球大会」が開催されました。西北地区の8チームが出場し、子供たちは日ごろの練習成果を発揮していました。

大会はトーナメント形式で行われ、地元の鶴田BBCも出場。初戦、準決勝を順調に勝ち進み、決勝戦で金木クラブと対戦。試合は序盤に金木クラブに3点をリードされていましたが、5回裏に鶴田BBCが2点を取り返すなど白熱した試合になりました。2点をリードされて最終回を迎えた鶴田BBC、粘り強く1点を取りましたが、あと一步届かず3対4で惜敗し、準優勝となりました。

選手たちはコロナ禍で思うように試合ができなかったため、1つ1つの試合を大切に悔いの残らないように全力でプレーしていました。



△天候にも恵まれ一生懸命にプレーをする選手たち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

ティーボールを通して野球の楽しさを知って

10月16日（日）、鶴田町スポーツ協会（瓜田稔会長）は町営球場で「第1回鶴田町スポーツ協会会長杯キッズベースボール大会」を開催し、県内6チーム75人が参加しました。

この大会は小学4年生以下を対象に、ティーボール（投手がボールを投げずに打者がバッティングテイに乗った、止まったボールを打つ）を通じて、野球の楽しさを小さい頃から知ってもらおうと今回初めて行われました。

開会式では瓜田会長が「勝ち負けは大事ですが、スポーツを楽しむのが一番です。今日は皆さんが主役なので、大いに楽しんでください」と挨拶。

大会は予選リーグを勝ち上がった4チームが決勝トーナメントに進出。鶴田BBCリトルが優勝を果たしました。



△ティーボールを通じて野球に親しむ子どもたち

3年ぶりに開催 子ども会キャンプ

10月8日・9日、鶴田町教育委員会と鶴田町子ども会育成連絡協議会による「KIDS Challenge Camp」が行われました。

この取り組みは小・中学生を対象に毎年行われており、今年3年ぶりに開催されました。子どもたちが親元から離れ、同い年の子どもたちだけで集団生活を行い、自然の中でお互いを思いやる気持ちを育む目的で行われています。

この日は鶴田小学校4～6年生の児童20人が参加。岩木青少年スポーツセンターで1泊2日のキャンプが行われ、子供たちは仲間とともに夕食のカレーライス作りや岩木山でのスタンプリーを楽しんでいました。



△仲間と協力して夕食のカレーライスを作る子どもたち

鶴田町ファン獲得を目指して新プロジェクト

町では都市部に住みながら町と交流する「関係人口」の拡大を目指し、官民一体となって新たなプロジェクトを開始しました。

このプロジェクトは県が進める関係人口拡大事業に参画し、県の予算で行われます。10月3日（月）には第1回研修会が開催され、「鶴田町ファン獲得をふるさと納税から考える！」をテーマに、町のふるさと納税返礼品提供事業者や町が受付や発送を委託している業者、一般町民が参加し、町のふるさと納税の課題や改善策を出し合いました。

プロジェクトでコーディネーターを務めるリネン作家の岡詩子さんは「本年度の活動は最初の一步。町のふるさと納税の現状を確認し、来年度以降に有効的な企画につなげていきたい」と話していました。



△ふるさと納税についてアイデアを出し合う参加者

子どもたちの安心・安全のために

青い森信用金庫鶴田支店の利用者で組織する「信友会」（川村武悦会長）は、10月25日（火）地域貢献活動の一つとして鶴田小学校に防犯ベスト30着を寄贈しました。

同会による防犯ベストの寄贈は今回で2回目。寄贈された防犯ベストは見守り活動を行っている地域住民に配付しています。川村会長は「子供たちは町の宝なので、これからも学校に貢献していきたい」と話し、蒔苗教頭に防犯ベストを手渡しました。

防犯ベストを受け取った蒔苗教頭は「ベストを着用することで地域全体で子どもたちを見守っていいこうという一体感が高まっている」と感謝を述べていました。



△蒔苗教頭（左）に防犯ベストを手渡す川村会長（中央）

火災予防を呼びかける 秋の火災予防運動

10月17日から23日までの7日間、秋の火災予防運動が実施され、運動前日の16日（日）には鶴田町消防団（下山正彦団長）による事前広報パレードが行われました。

パレードでは、査察者である相川町長や下山団長らが消防車両で町内を巡回しながら町民に火災予防を呼びかけました。また、消防団員らが旧胡桃館小学校、役場駐車場、旧富士見小学校の3カ所に集まり、査察者からの服装や姿勢などの点検を受けたり、器具の点検や放水訓練などを素早く行っていました。

相川町長は団員たちへ「8月の大雨被害では消防団員の方々が長時間にわたり排水作業にあたってくれたおかげで被害を最小に抑えることができ、感謝申し上げます。これからも町民の生命・財産を守るために日々の活動を頑張ってください」と話していました。



△放水訓練を行う消防団員たち

いくつになっても学ぶのは楽しい

10月27日（木）、町のお年寄りに学習や活動の場を提供し、健康で生きがいを持ってもらうことを目的とした「鶴田町ことぶき大学（5回開講）」の閉講式が行われ、学生34名中15名に修了証、18名に皆勤賞が渡されました。

今年度のことぶき大学では、災害からの身の守り方講習や書道教室などが行われ、学生たちは学ぶ楽しさを再認識していました。また、閉講に伴うお楽しみ会では鶴田町出身の津軽三味線奏者の葛西頼之さんによる演奏が行われました。



△山本教育長から修了証を受け取ることぶき大学の学生

個性豊かな「絵・文字入りリンゴ」収穫

10月21日（金）、妙堂崎地区のリンゴ農家「拓紅園」の中野光彦さんが自身の園地で制作した「絵・文字入りリンゴ」の収穫を行いました。

絵・文字入りリンゴは、赤く色づく前のりんごの表面に文字や絵がかかれたシールを貼り付け、その後2週間ほど日に当てることでシールで影になった部分だけ白く浮かび上がります。

中野さんは35年ほど前から絵・文字入りリンゴを栽培しており、この日は津軽弁やハロウィーンのイラストなどが入った個性豊かな絵・文字入りリンゴ約500個を収穫。中野さんは「今年の絵・文字入りリンゴは例年以上に色づきがいいです。しばらくは飾って楽しんで頃合いを見て食べてほしいです」と話していました。

収穫されたリンゴは、10月22日から道の駅つるたで販売されており、11月下旬には青森市のJR新青森駅などでも販売予定。



△中野さんが制作した絵文字入りリンゴ

町社協へボッチャ用具一式を寄贈

青森県西部郵便局長会五所川原部会（部会長・松山保鶴田町郵便局長）と夫人会（松山環理事）が10月17日（月）、町社会福祉協議会にボッチャ（※パラリンピック競技）用具一式を寄贈しました。

同部会はこれまで車いすなどの寄贈を毎年行っており、今回で8回目となります。



△中野会長（中央）にボッチャの用具を手渡す松山部会長（右から2番目）

音楽と一緒に絵本を読み聞かせ

10月22日（土）、町国際交流会館ホールで「鶴田町読み聞かせフェア」が3年ぶりに開催され、町内の子どもたち約70人が参加しました。講師は秋田県を中心に活動している谷京子さんと谷さんが代表を務める「グループかぜ」が務めました。

会場では、絵本の読み聞かせをするだけでなく、ピアノやフルートなどの楽器を使い、絵本の状況に合わせた音楽や効果音を奏でることで、子どもたちは読み聞かせに集中していました。また、手品やぬいぐるみを使ったパフォーマンスでも子どもたちを楽しませていました。3年ぶりに開催された読み聞かせフェアは子どもたちの笑顔で溢れていました。



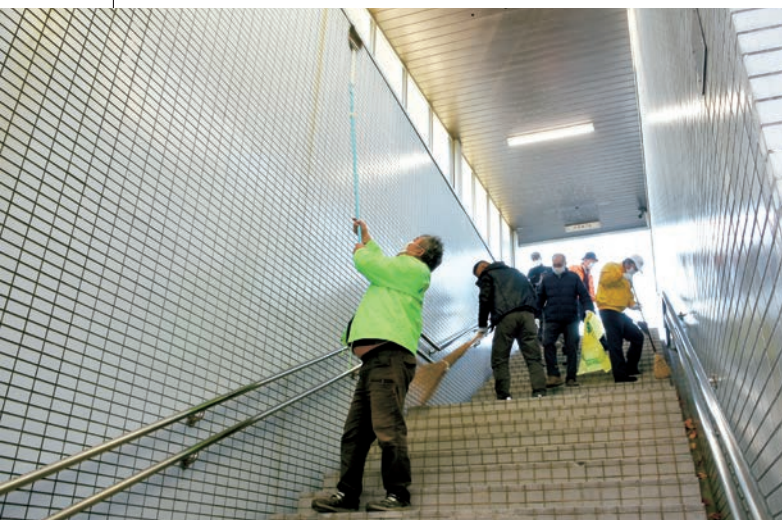
△講師たちによる様々なパフォーマンスが行われました

利用者に気持ちよく利用してほしい

10月25日（火）、鶴田ライオンズクラブ（金山昭彦会長）が陸奥鶴田駅付近の「丹頂地下道」で、清掃ボランティアを行いました。

同クラブによる清掃活動は毎年行われており、この日は会員17人が参加。会員たちは階段脇などの落ち葉やたばこの吸い殻などのゴミを拾い集めたほか、竹竿などにほうきを取り付けて、身の丈を越す長さのほうきで、通常では手が届かない天井付近のクモの巣を取り除くなど、徹底的に清掃していました。

金山会長は「地下道を通る人たちが気持ちよく利用してもらいたい」と話していました。



△地下道の清掃活動にいそむ会員たち

地域おこし協力隊通信

Vol.50（筆：川口翔大）

鶴田町の関係人口の増加とふるさと納税を盛り上げようというプロジェクトがスタートしました。僕もプロジェクトの一員として参加しています。

今回はふるさと納税と一緒に盛り上げてくれる地域外の協力者を募集して、協力者の知識や能力を借りながらふるさと納税を盛り上げていこうというものです。事業者さんや納税者さんに話を聞いたりしながら、鶴田産のものが全国にもっと知ってもらえるように取り組んでいきます。関係人口が増えれば、おのずと地域の力も増していくと思いますので、未来に向けて、人口減少に負けない地域づくりには欠かせない試みですので頑張ります！

関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です



△プロジェクトチームの皆さん

川口さんの SNS



Twitter



facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。